

くわしく調査・検討しました

～ 第一回定例会委員会付託 ～

総務・教育委員会 報告

本委員会に付託された案件は「登別市土地開発公社の定款の一部変更について」など議案7件を審議しました。

特に恵寿園に関しては、審議の必要上「土地の取得」「建物及び備品の無償譲渡並びに無償貸付」などの資料を要求しました。資料のうち、「買取依頼書」の存在の確認が出来なかったことなど、不適切な事務処理があったことから、副市長より「事務執行に適切さを欠いたことを深くお詫びする。今後、事務の執行に万全を期す」と陳謝がありました。

質疑終了後、「登別市と登別市土地開発公社による土地の取得及び財産管理等に関する事務取り扱い行為が適切でないことが見受けられる。今後は、法や条例等を遵守し、遂行されたい」との附帯決議を附し賛成多数で原案のとおり可決しました。

生活・福祉委員会 報告

登別市福祉のまちづくり条例の制定を含めて議案10件の審査を行いました。その中で、4月1日から新たな制度として開始した後期高齢者医療制度に関して、年金からの天引徴収や市民周知のあり方など円滑な運用に向けた質疑を交わしました。

一方、福祉のまちづくり条例については、本条例の策定に至る経緯を検討するため資料要求を行うと同時に、市民自治推進委員会をはじめ、市民の方々から意見を聴きながら慎重に審査しました。その結果本条例の策定経緯として市民自治推進委員会において取り組まれた検討内容は十分理解することができ、ものの、具体的な推進にあたっては地域住民の協力が絶対的に必要なことから、幅広く市民の意見を聴取するなどの理由から、継続審査することを決めました。



恵寿園現地視察

議会運営委員会

行政視察報告

2月6日から3日間の日程で三重県議会と伊賀市議会を訪問し、先進的な取り組みを学ぶとともに、日本経営協会で実施している「地方議員のための議会改革講座」を受講しました。

三重県と伊賀市では、議会基本条例、議決権の拡大状況、予算・決算の審査方法、議会中継などについて視察しました。説明の中で「県民ミーティング」や伊賀市の「議会報告会」などの取り組みが紹介されましたが、あらためて市民参加による議会運営の大切さを痛感しました。

講座では、市民へ説明責任を果たすことや自治体の将来展望を示すこと、市民の意見を調整することを議会の役割として挙げ行政評価の実施や付属機関の設置にも言及していました。



伊賀市の取り組みを調査